

2021年7月19日

各 位

株式会社エフピコ

三井物産プラントシステム株式会社との電力購入契約（PPA）締結のお知らせ

当社は、2021年2月1日に「使用済み容器リサイクルによるカーボンオフセット実現に向けエフピコと三井物産グループが屋根上太陽光発電の協業開始」で公表いたしました通り、三井物産プラントシステム株式会社（以下 MPS）と太陽光発電の協業に関して電力購入契約（以下「PPA」※）を締結したことをお知らせいたします。

この度の PPA 締結により、下記 2 拠点に MPS が太陽光発電設備を設置し、その太陽光パネルで発電した電力を当社が全量購入いたします。これにより、同敷地内関東リサイクル工場で使用する電力の全量相当の再生可能エネルギーを調達可能となります。

〈設置拠点〉

◆関東エコペット工場（茨城県結城郡八千代町）

- ・発電容量：約 1.4MW
- ・年間計画発電量：149 万 kWh
- ・年間 CO₂ 削減量：約 660t-CO₂
- ・契約運転開始予定日：2022 年 2 月

◆関東八千代工場（同上）

- ・発電容量：約 1.5MW
- ・年間計画発電量：164 万 kWh
- ・年間 CO₂ 削減量：約 730t-CO₂
- ・契約運転開始予定日：2022 年 2 月



当社は、2021年2月に「エフピコ リサイクルでカーボンオフセット宣言」を策定しました。

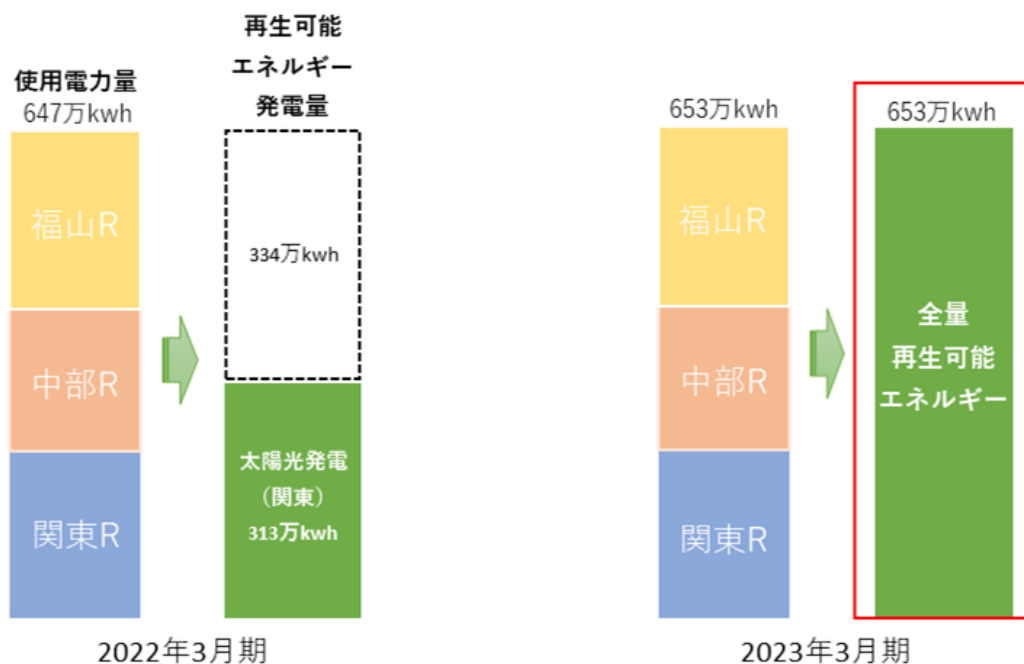
エフピコ リサイクルでカーボンオフセット宣言

I. 自社エコ製品 (エコトレー、エコ APET、エコ OPET) の販売による CO2 排出削減量を
2023年3月期までに 19.2 万 t (2020年3月期比+20%) に増やし
生産部門で発生する CO2 排出量をオフセットします

II. 自社エコ製品 (エコトレー、エコ APET、エコ OPET) の販売による CO2 排出削減量を
2025年3月期までに 23.7 万 t (2020年3月期比+48%) に増やし
全社 (生産・物流・オフィス) で発生する CO2 排出量をオフセットします

今回の PPA 締結は目標達成に向けた取り組みの一環であり、2023年3月期には中部リサイクル工場・福山リサイクル工場も含めたすべての発泡トレーリサイクル工場における再生原料製造工程の CO2 排出量ゼロを目指し、下記の通り取り組むこととしております。

- ・2022年3月期より関東エコペット工場及び関東八千代工場の屋根上にて太陽光発電を実施。
- ・2023年3月期よりその他拠点 (中部エリア・関西エリア) にて太陽光発電の実施を検討。



本件を通じて、当社及び MPS は環境負荷低減を更に加速させるため、再生可能エネルギーを積極導入することで低炭素社会の実現と持続可能な社会の構築を目指してまいります。

※電力購入契約「PPA (Power Purchase Agreement)」とは、電力会社等の PPA 事業者が、電力需要家の敷地や屋根などを借り受け、太陽光発電設備を設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデルのことです。

以上

【本リリースに関する問い合わせ先】

株式会社エフピコ 経営企画室 IR・広報課 TEL: 03-5325-7756